

# とてにもにぎやかな コンサート

## 2026.7.18

PROGRAM

横浜みなとみらいホール小ホール

12:30開場

13:00開演

普段から「警備員か！」という位に気を張っている障害児の親御さん。  
そして小さい子や赤ちゃんを連れてゲッソリしている親御さん。  
「親子で一緒にクラシックコンサートなんて難しい。クラシック？無理！」  
そんな方に朗報です。  
ホール内の光景はだいぶ愉快的な事になっているのに  
聴こえてくる音楽は本格クラシック！  
誰もがクラシックを楽しんでいい。  
全ての人にウェルカムの「にぎコン」。  
今回はどんな奇跡が起こるのか楽しみですね！



エスプレッソ・コーラ著者  
漫画家 ほっかむりゆり子様

# PROGRAM

## 1.ととにもにぎやかなコンサート

人首美佳子 作詞作曲

山添隼人編曲

## 2.歌劇「カルメン」より間奏曲

ジョルジュ・ビゼー

## 3.Eine kleine Nachtmusik

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

## 「動物の謝肉祭」より

シャルル・カミーユ・サン＝サーンス

## 4.序奏と獅子王の行進曲

## 5.化石

## 6.白鳥

## 7.フィナーレ

## 8.参加型プログラム

## 9.月の光

クロード・ドビュッシー

## 10.死の舞踏

シャルル・カミーユ・サン＝サーンス

## 11.クラリネットこわしちゃった

フランス民謡

山添隼人編曲

## 12.チャルダッシュ

ヴィットーリオ・モンティ

山添隼人編曲

# 1.とてものにぎやかなコンサート

人首美佳子 作詞作曲  
山添隼人 編曲

自閉症の息子は幼児の頃、毎朝目を覚ますと同時に泣き叫んでいました。  
爽やかな朝とは程遠い現実。息子が起きる時間が近づくと、重い1日の始まりに恐怖で体が震えました。  
でも、彼も私には分からない辛い気持ちで朝を迎えているのかもしれない。  
お互いの立場や考えは違うけど、その少しだけでも音楽を通して理解し合えたらいいな。  
公演タイトルに節をつけて歌っていたらそんな気持ちの一つの音楽になりました。

新しい朝が うれしくない  
そんな日だって 時にはあるだろう  
言葉にならない その気持ちを  
音で探してみようよ  
昔の人が 描いたメロディー  
五線紙に残した物語  
おいでよ！楽しいコンサート  
とてものにぎやかなコンサート

伝えられない この気持ち  
きっと誰もわかってくれないと  
思い悩む くらいなら  
音に託してみようよ  
言葉は時に 不器用だから  
音楽の中に見つけてみよう  
おいでよ！楽しいコンサート  
とてものにぎやかなコンサート

## 2.歌劇「カルメン」より間奏曲

ジョルジュ・ビゼー

ビゼー作曲のオペラ『カルメン』は、世界で最も上演されているオペラです。  
この「間奏曲 (Entr'acte)」は、第3幕の冒頭で演奏されるフルートが主旋律の管弦楽曲です。  
映画やドラマでは、悲劇的な場面の前に、あえて美しく穏やかな情景が描かれることがあります、  
この間奏曲もそれに似た効果を持っており、この曲のあと、物語は破滅のクライマックスへと進んでいきます。名曲揃いの『カルメン』の中で、その繊細な美しさから特に愛され続けている作品です。

## 3.Eine kleine Nachtmusik

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

人首美佳子 編曲

「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」は、1787年、モーツァルト 31歳で作曲された弦楽合奏曲で、  
タイトルは「小さな夜の音楽」という意味です。  
全4楽章からなり、本日演奏する第1楽章の軽快で明るい旋律は特に有名です。  
にぎコンで何の曲を演奏しようかな？と考えていたときに、本来ヴァイオリンにしかメロディーが任されないこの曲を「いろんな楽器みんなでメロディーを回したらボーダレスにピッタリじゃないか！」と  
モーツァルトが言ってくださったような気がして、このように編曲いたしました。  
いろんな主役が見え隠れするそんなアイネクライネです。

## 「動物の謝肉祭」より

シャルル・カミーユ・サン＝サーンス

音楽にも学問にも優れたフランスの偉大な作曲家サン＝サーンスが、仲間内で楽しむためだけに作曲したのが動物の謝肉祭です。

カーニバルの山車に人ではなく動物が乗っているという設定の曲なのですが、  
他の作曲家を皮肉の意図が曲中にあるため、生前から本人の意向で出版を禁止していました。  
ところが、あまりにも面白い作品なのでサン＝サーンスの死後に秘書が出版社に持ち込むと、あつという間に有名となり今では彼の一番人気の作品です。  
この曲の面白さの1つは、サン＝サーンスの作曲表現により、あたかもその場面が目浮かぶような写術的な描写に満ちている点です。本日は全14曲のうち  
序奏と獅子王の行進曲、白鳥、化石、終曲(フィナーレ)の4曲を演奏します。

## 4.序奏と獅子王の行進曲

獅子王とはライオンのこと。

勇壮な行進や唸り声から「ほんとに、ほんとに」ライオンが見えてくるようです。  
アフリカが好きでよく旅行にも行ったサン＝サーンス。異国の雰囲気ピアノの和音が醸し出します。  
今回はこの曲からクラリネット、山添さんが登場します。

## 5.化石

今回にぎコンでは化石とその元ネタである死の舞踏の両方をプログラムに入れました。  
サン＝サーンス51歳の時の作品です。冒頭で聴こえてくるのなんと作曲者本人の曲「死の舞踏」。  
その他にも聴こえてくるのはキラキラ星。フランス民謡など6曲ほどのメロディーが散りばめられています。  
自分の曲も含めて、いずれ化石のように忘れ去られる、そんな皮肉が込められています。

## 6.白鳥

初演のホストがチェリストだったため、その方に花を持たせるために終盤に置かれたのが白鳥。  
この曲だけはおふぎなしの情景音楽で、生前から出版されていました。  
優雅なメロディーと水のゆらめきは絵本の挿絵を音にしたような美しさです。

## 7.フィナーレ

ここまでの多様な曲を最後までめ上げるのがフィナーレ。動物のモチーフがあちこちに現れます。  
ごちゃごちゃでわちゃわちゃなお祭り騒ぎを正確かつ芸術的に音楽にした作品です。日常の慌ただし瞬間も作曲家の手にかかるとこのような作品になるのかもしれない、と思うと、ちょっと面白く感じませんか？  
にぎやかに、あつという間に、音楽のお祭りの最後を飾ります。

## 8.参加型プログラム

### 9.月の光

クロード・ドビュッシー

フランスの作曲家ドビュッシーが作ったピアノ曲「月の光」。  
ドビュッシーは「印象派」と呼ばれ、光や色、空気の感じを大切にしたモネの絵のような音楽を作りました。  
輪郭をはっきり描くのではなく、その場の光の印象を音にした、という表現がびったりの曲です。  
水面に映る明るい月の光、窓から優しく差し込むやわらかな月の光、雲に隠れ、空全体を薄く白く照らす月の光。  
毎晩訪れる静かな夜の様々な美しさがそのまま音楽になったとしか思えないような、光り輝く宝物のように美しい1曲です。

### 10.死の舞踏

シャルル・カミーユ・サン＝サーンス

時計が真夜中の12時を打つと、どこからか死神がやってきました。「さあ、踊りの時間だよ！」。  
すると墓場の骸骨たちが次々に目を覚まし、月明かりの下でにぎやかなダンスが始まります。  
くるくる回ったり、跳ねたり、笑ったり。少し怖そうなお話ですが、音楽はどこかユーモラスで楽しい雰囲気です。  
夜が明けるまで続く不思議な舞踏会を、登場人物になったつもりで自由に想像しながらお聴きください。

### 11.クラリネットこわしちゃった

フランス民謡

山添隼人編曲

「クラリネット壊しちゃった」を実際に分解しながら演奏！？  
楽器が壊れてしまうのは奏者にとって悲劇ですが、  
今回はそんな「壊す」行為をユーモアと音楽でお楽しみください！  
フランスの童謡「クラリネット壊しちゃった」は、ちょっとドジな主人公が楽器を次々にダメにしてしまう  
コミカルな歌。  
今回はその世界観を最大限に生かし、演奏中にクラリネットを少しずつ分解しながら進めます。  
パーツが減るにつれて音が変わっていく不思議な体験にご注目ください。  
果たして最後まで音楽を奏で続けられるのか？  
クラリネットの構造と音の変化を楽しみつつ、一緒に笑いましょう！  
最後は、ちゃんと元通りに組み立てて演奏しますのでご安心を！

### 12.チャルダッシュ

ヴィットーリオ・モンティ

山添隼人編曲

情熱的な旋律と華やかで技巧的なパートの対比が聞く人を魅了するこの作品は、イタリア出身の作曲家  
モンティによるもの。ただ、モンティについては残されている資料が極めて少なく、作曲家の人物像や  
この曲作曲の経緯は謎に包まれています。はっきりとした答えの分からない作品という結果に  
「なぜこうしたのだろうか？」と思いを馳せてみると、圧倒的な存在感の裏に潜む奥深さを感じられるのでは  
ないかと思います。華やかに幕を閉じるこの曲で本公演を締めくくります。

## 出演者プロフィール

### フルート 人首美佳子 (ひとかべ みかこ)

岩手県で生まれ、子供時代を東京、大阪、ドイツ、横浜で過ごす。  
大学在学中よりポップスユニット内で活動し関東全県でライブを行う。  
現在は個別支援級に在籍する二人の子どもの母である経験をもとに、幼児から60代までの生徒さんに発達の仕組みに基づくレッスンをを行う。  
どんな状況下でも自分を高めていくことができる、音楽と共にあることで幸せに生きていけるを指導にも自分自身にも掲げ、指導者、フルーティスト、youtubeで毎日筋トレする母として活動中。

とてもにぎやかなコンサート 音楽団体サウンドラック代表  
子ども発達障がい支援アドバイザー  
フルートを調久美子、故中野富雄各氏に師事。  
武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科卒業。

### チェロ 杉田一芳

ヴァイオリン奏者の両親のもとで、北の大地で生まれる。3歳の頃にヴァイオリンをやってみるも興味をしめさず、6歳の頃に母の知り合いのチェロ奏者の所に遊びに行き、チェロと出会う。  
桐朋学園大学音楽学部卒業後、同大学研究科修了。  
現在、フリーランス奏者として活動する傍ら、音楽教室等で後進の指導に努める。  
休日は息子と遊んだり、チェロの代わりに草刈り機と鎌を持って、畑をやったり、草刈りに追われる。  
趣味はカメラとドライブ。バス、鉄道、飛行機マニア。  
ご興味のある方は、私の名前をネット検索してみてください！笑

足利カンマーオーケスター 登録アーティスト  
チェロを故・川崎昌子、毛利伯郎の各氏に、  
室内楽を東京クワルテット、毛利伯郎、藤原浜雄、三上桂子、北本秀樹、  
徳永二男、銅銀久弥、漆原啓子の各氏に師事。

### ピアノ 上野亜依

福島県喜多方市出身。5歳よりピアノを始めクラシックピアノを渡部和子、星敬子、三木香代、ポピュラーピアノを菊永良江の各氏に師事。  
国立音楽大学音楽学部演奏学科鍵盤楽器専修卒業、同大学ピアノコース修了。  
在学中からソロ・アンサンブルでの演奏活動を開始し、卒業後はピアノ講師として後進の指導にあたる傍ら、出身地である福島や関東を中心に、クラシックのみならずジャンルを超えた演奏活動を展開。  
2012年より「0歳から楽しめるコンサート」を毎年企画・開催する演奏団体  
《デュオの会》を発足し、代表として活動。  
年齢や環境にかかわらず、誰もが音楽を楽しめる場をつくることを大切にしている。  
2025年からは、ボーダレスクラシックコンサート《とてもにぎやかなコンサート》のピアニストとして新たに就任。  
人と人とを繋ぐ音楽の魅力を年を重ねるごとに深く実感し、コンサートホールから地域の施設まで、さまざまな場所で演奏活動を展開。

「今この瞬間にしか生まれない音楽」を届けること、聴く人の心に寄り添う演奏を心がけている。

### クラリネット 山添隼人

作編曲家、クラリネットプレイヤー、吹奏楽部活動指導員、育児講座講師、悩める父、など様々な仕事をこなす横浜市民。  
5歳のときにマーチングバンドでスネアドラムを叩き始めて以来、気づけば音楽とともに人生を歩んでいます。  
作編曲とクラリネットプレイヤーとしてお仕事をしつつ、  
横浜市と東京都で吹奏楽部の指導に明け暮れ、  
気づけば毎度のごとく「先生、今日のテンポ速くないですか？」と生徒に突っ込まれる日々。

地域の子育て支援講座でもトークのテンポはAllegro Vivo!  
得意な講座は絵本の読み聞かせ講座!  
作編曲家としては、演者も聴く人も思わず笑顔になるような一音入魂の作品をお届けしています。

音楽は難しいものではなく、心が動く瞬間を分かち合える最高のツールだと信じています。  
今日も、音楽を通じて皆さんやご家族と心がふるえる瞬間を共有できたらうれしいです！

ご覧の方々に協賛いただき公演を実施することができました。  
心より御礼申し上げます。

## アースレーベル合同会社



この公演は  
神奈川県マグカル展開促進補助金の助成を受けて実施しています